



県と市町の情報ホットライン

かがわ

vol.
116

発行●(公財)香川縣市町村振興協会 監修●香川県政策部自治振興課
HP●<http://chousonkai.or.jp/shinkou/publication/>

まちづくり最前線/三豊市

My Town

DXで職員・住民ともに便利な庁舎を

株式会社 禾 代表取締役 中條 淳子さん

Top Message

みんなが同じものをおいしく食べられる社会に

地域の元気印/三豊市

People

和太鼓集団 響屋



「心に響く音」で聴衆を魅了する和太鼓集団響屋の皆さん。その音は次の世代に受け継がれています
(三豊市)



三豊市



デジタル技術を大活用 DXで職員・住民ともに便利な庁舎を

日常生活のデジタル化が進む中で、近年耳にする「DX（デジタルトランスフォーメーション）」。デジタル技術を積極的に取り入れ、社会や組織の仕組みをよりよく変革するDX化をいち早く推し進める三豊市の取り組みをご紹介します。

紙依存脱却のための オフィス改革

三豊市役所2階に上がって目に飛び込んできたのは、仕切りのない広々としたフロアと色鮮やかな椅子の数々。普段の執務エリアの他に、会議用や集中作業用といった用途別にエリアが分かれ、市役所の中とは思えない景色が広がります。

庁舎2階の改修をしたのは、2020年3月に市が「三豊市デジタルファースト宣言」を行ってから半年後のこと。2011年に他の市町に先駆けて電子決裁システムを導入したものの、文書の電子化やペーパーレスへの取り組みが思うように進まず、紙に依存する職員の働き

方を根本的に変えるために、オフィス環境を整えることがきっかけでした。

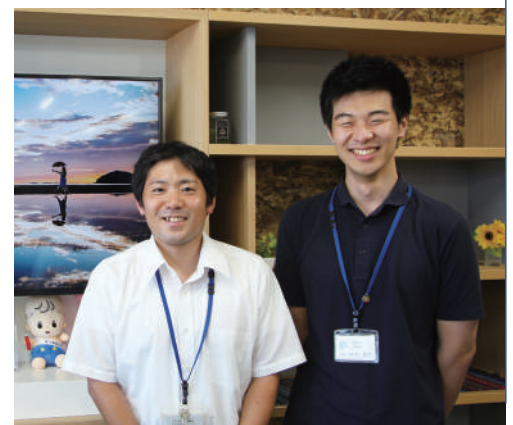
DX化が進む県外庁舎や民間企業への視察を重ね、全館Wi-Fi（無線LAN）化、薄型ノートパソコンの配備、文書キャビネット削減、職員一人一人に業務用スマートフォンを貸与するなどハード面の整備を段階的に行うとともに、業務用チャットツールの導入、デジタルツールやアプリの使い方を学ぶ職員研修などソフト面も整えていきました。

多くの職員を巻き込んだ 取り組みへ

「ペーパーレスの取り組みについては、当時から総務課が主導して行ってきた。デジタルファースト宣言前は、

取り組みの趣旨が他の課の職員に伝わりにくい部分もあり、自分事として扱ってくれる方が少ないような印象でしたが、宣言後は、対外的に周知する機会も増え、身の回りの環境も少しずつ変化していったことから、職員一人一人が取り組みを身近に感じるようになったと思っています」と、総務課副主任の佐藤晃斗さんは話します。

DXの取り組みは部署全体で取り組まないといけないことも。せっかく担当者DXに興味を持って研修で学んでも、現場で生かせないというもどかしい時期がありました。周りの職員からは「○○だから今は無理、うちの部署には関係ない（無理）」という声も数多くありました。関係部署が一丸と



三豊市総務課の佐藤さんと前田さん（写真左から）



改修後はフロア全体が明るい雰囲気。入り口付近は来庁者目線のローカウンター

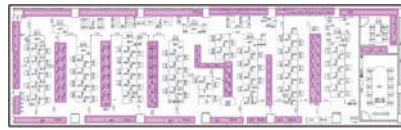
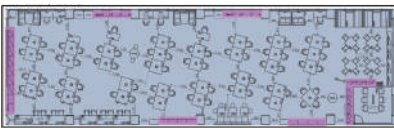


改修前は背の高いキャビネットが区切られ、職員の顔が見えづらかった

オフィス改革が もたらした効果

なって改善を行うために、文書管理の担当者や職員説明会などでDX化の取り組みについて繰り返し説明をしていきました。「現状を変えることに抵抗の声もありましたが、背中を押してくれる職員の励ましの声や、まずはやってみようという前向きな気持ちで、勇気を持って取り組みを進めました」と佐藤さんは振り返ります。

改修を行った結果、2階の紙文書量は36%、キャビネット量は60%の削減に成功しました。キャビネットが減った分、ミーティングスペースが広がり、円滑な内部協議や意思決定までの時間短縮に一役買っているそう。総務課主事の前田龍匡さんは「今はフロア内の職員全員の顔が見えます。固定席を持たないフリーアドレス方式でも、どこに誰がいるのか分かりやすいので困ったことはないですね」と教えて



2階フロアのキャビネット量の比較図。ピンク色の部分がキャビネットを示す。その変化は一目瞭然

くれました。佐藤さんは「働く場所を自分で自由に選べる職場になった」と話します。



窓口でのタブレット利用の様子。扱いが不安な方には、職員が聞き取りで入力し、署名だけしてもらう

自分の仕事の予定に合わせて、関係する部署の職員と逐一グループを組んで一緒に座ったり、期間限定的に来客が多くなりそうな課を入り口近くに置くなど、効率よく仕事を進められる環境作りを目指しました。

DX化は住民サービスの向上にもつながっています。例えば家族のお悔やみの手続き。全部で25項目ある手続きに対して、今まで来庁者は担当課の窓口を4〜5カ所回り、その都度住所や名前を書く必要がありましたが、現在は1つの窓口でタブレットに必要事項を入力すれば他の関係窓口も情報が共有できるようになり、来庁者が移動や記載する手間を減らせています。さらに今年度は、支所と本庁をテレビ会議ツールでつなぎ、支所でも本庁と同じ住民サービスを受けられるよう計画。市長が掲げる『書かせない、来させない窓口』の実現に向けて、着実に歩みを進めています。

「魅力ある三豊市」を 目指して

今後の目標を伺うと「本庁2階以外のフロアについても、その部署にあったオフィス改革を進めていきたいと思っています。例えば、来庁者の多い1階フロアは、市民がもっと利用しやすい窓口を目指すとともに、窓口の職員の業務負担が減らせる仕組みがないか考えたり、いろいろ模索しています」と前田さん。佐藤さんも「職員の数は年々減ってきています。目の前の業務をただ前例踏襲するだけでは職員の負担が増えるばかりなので、常に新たな働き方を提案し、担当職員の業務負担を減らす↓浮いた時間で市民サービスの向上に努めてもらう（担当職員に考えられる余裕を与える）、の繰り返しだと思っています」と答えてくれた上で、「三豊市は直近10年間で人口が6000人減っています。今後は三豊市に関わってくれる人口＝関係人口を増やしていくことが重要です。DX化で皆さんに選んでいただける魅力のある自治体にしていきたいです」と力強く語ってくれました。

取材中もさまざまなアイデアを話し、課題解決に意欲を見せる二人。今後の三豊市の取り組みに期待が高まります。

香川の先進企業の力を探る **あの人に会いたい！**

株式会社 禾

代表取締役

中條 淳子さん

必要なものは人々に選ばれてこの先も残つていくと思います。行政の仕事は、全ての人の対し、その時に必要な手助けを行う大変な仕事です。時代とともに変化するスピードが早まる中、必要なものを見極め、臨機応変に取り組んでもらいたい。

アレルギーや食事制限を必要とする人たちのために、卵・乳製品・小麦粉を一切使用しない、誰もが安心して食べられる「おこめのおかし」を開発し、製造販売している株式会社 禾^{のき}の代表取締役中條淳子さんに話を伺いました。



貴社の企業理念を 教えてください。

企業理念は、「大地の恵みに感謝し、その美味しさを追求し、人々の健康と幸せに貢献する」です。アレルギーを持つ人や食事制限がある人も、みんな同じものを食べて「おいしいね」と笑顔になれるポークダレスな米のお菓子を作り、人々の生活や社会に貢献していきたいと考えています。

会社を立ち上げた経緯をお聞かせください。

会社員時代に体調を崩した時にマクロビオティックに出会いまし



社長自ら内装や外装を手掛けた事務所

た。マクロビオティックは添加物などを使わず、玄米菜食を中心とした食事です。食生活を変えたことで体調が良くなり、玄米のパワーとおいしさをもっとたくさんの方に知ってほしいと思い、友人とカフェをオープンし、一年後に会社を立ち上げました。チームを立ち上げた時の名が、今の社名になっています。

当時は、マクロビオティックや、アレルギーに対応した食事を提供する飲食店はほとんどありませんでした。アレルギーを持つ人の来店が増え、彼らも「外で食事したい」、「他の人が作ってくれた料理を食べたい」と思っているらしいことを知りました。

米粉を使用したお菓子を商品化したきっかけを教えてください。

会社を設立してから1年後に東日本大震災が発生しました。支援物資として菓子パンを配給しているニュース画面を見て、「私たちにできることはないか」と考え、被災したアレルギーのある子どもたちに、弊社で作った卵・乳製品・上白糖不使用の小麦粉のクッキーを送りました。ただ、小麦アレルギー

ギーの方は食べることができず、「小麦を使っていないお菓子はないか」との問い合わせもありましたが、当時は対応できませんでした。

その時の教訓を生かし、卵・乳製品・小麦の「三大アレルギー」を一切使わない、国産米粉を使用した「おこめのかし」を開発しました。2014年には専用工場が完成し、事業として本格化しました。「わけっこできる喜びを」をテーマに、お菓子の製造・販売をしています。

御社の商品のラインナップとその特徴を教えてください。

自社で製造販売している商品は、「おこめケット」と「おこめポーノ」、「ヌカビスケット」、「おとなの玄米ポリッポリ」の4商品で、それぞれ数種類の味を用意しています。

「おこめポーノ」は幼児向けのお菓子で、しっかりとかわくことで素材のおいしさを感じる味覚を養い、食べる楽しさを体験できる商品です。「ヌカビスケット」は、米の栄養分が一番多い米ぬかの芳ばし



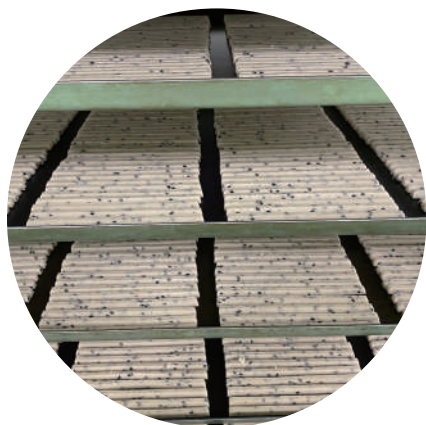
三大アレルギーを一切使っていない自社商品

さと、口だけの良い米粉を合わせてサクサクの食感に焼き上げました。9月から新たに「きなこ味」を販売しています。「おとなの玄米ポリッポリ」は、塩味のスナックでビールやワインにも合います。ノンフライのスナック菓子です。で、体に優しく、罪悪感なく食べられます。

品質面でのこだわりをお聞かせください。

弊社の商品は国産米粉を使用し、三大食物アレルギーである卵・乳製品・小麦粉は一切使用していません。ただでなく、工場にも持ち込まないよう、粘着ローラーで作業着の付着物を丁寧に取り除き、エアシャワーも完備しています。特に小麦粉は粉末ですので、目視でもわかりづらいため、特に気を付けています。小麦粉が少しでも混入していると、アレルギーを持つお客さまが口にされた時、大変危険な状態になる可能性があります。X線検査機を導入し、社員全員が「アレルゲンを持ち込まない」ことを徹底しています。

弊社では自社製品以外に、大手企業のPB商品やOEM商品の開発にも携わっています。視察に来



焼成前の「おとなの玄米ポリッポリ」



X線検査機の導入により品質がさらに向上

た取引先の方からも、「想像以上に品質管理を徹底している」と評価していただいています。

今では専門店だけでなく、百貨店やスーパーマーケット、コンビニエンスストアなど販路が広がっていますね。

初めは通信販売からスタートし、その後、食のセレクトショップ「まちのシュール963」の店頭においてもらうことになりました。店頭に並んだ時期と瀬戸内国際芸術祭が重なったこともあり、他県から来ていたバイヤーの目にとまったようです。そこから声を掛けていただき、販路が広がりました。



商品に小麦粉などが混入していないかを細かくチェック

最初は一つ一つ手作りでしたが、2014年に念願の卵・乳製品・小麦粉を排除した専用工場が完成したことで、生産性も上がりました。

2019年に高松市からさぬき市に工場を移転しましたが。

高松市の工場は市街地にあり、スペースが限られていました。注文もさらに増えていたので生産力を向上させるため、広い場所を探していたところ、さぬき市の保育園の跡地が空いていることを知り、移転しました。その際さぬき市をはじめ、多くの方々にご協力いただきました。本当に感謝しています。

購入されたお客さまの反応はいかがですか。

アレルギーを持っている方々からは「作ってくれてありがとうございます」とお礼を言ってくださいます。また最近では健康志向の高まりもあり、アレルギーを持たない方々も多くご購入いただけるようになりました。

今後の展開をお聞かせください。

工場のクオリティーを上げるため、食品衛生の世界規格FSSC 22000の取得を目指しています。また、生産力アップに向けた生産ラインの増加を検討中です。

キッチンで知人に分けていた手作りのおやつが、今では専用工場で製造できるまでになりました。これも弊社の取り組みを応援し続



梱包は心を込めて一つ一つを手作業で



事務所の玄関に並び商品は、その場で購入も可能

けてくれているお客さまや取引先様のおかげだと思っています。これからも手作りで作っていたころの気持ちをお忘れず、心を込めてより良い商品を開発・製造していきたいと思っています。

休日はいかがお過ごしですか。趣味や県内でお気に入りの場所があれば教えてください。

仕事に興味になってますので、休むことが少ないですね、ここ2年は新型コロナウイルス感染症の影響であまりできていませんが、休日には友人と食事に出掛けたり、煎茶道のお稽古に通っています。休日ではないですが、仕事帰りにヨガやピラティスなどで体を整えています。

県内で一番のお気に入りの場所は豊島美術館。季節の移り変わりで、いろいろな表情を見せてくれます。風や音を感じられ、土の中にいるような感覚になり、とても落ち着きます。最近は行けていないので、時間を作って行きたいですね。

香川県や市町の行政に感じていることをお聞かせください。

私たち民間はターゲットとなるお客さまに商品を販売し、サービスを提供していますが、自治体の皆様は年齢や生活環境など異なる全ての人に対し、その時に必要な手助けを行うとても大変な仕事で

す。今の時代は何をするにしてもスピードを求められるので、頭が下がる思いです。

本誌を読む自治体職員に向けて、アドバイスをお願いします。

主婦の趣味から始めたことが、なぜここまで成長できたかと考えた時、「世の中のために何が必要か」ということを念頭に置いていました。必要なものは人々に選ばれてこの先も残っていくと思います。コロナ禍で世の中の変化する

スピードが早くなり、昔のように段階を踏んで進める余裕がなくなっています。トライ＆エラーをするにしてもスピードが求められる時代です。自治体の業務にもさまざまな手順があると思いますが、臨機応変に対応して必要なことを優先的に取り組んでほしいと思います。



中條 淳子 (ちゅうじょう・じゅんこ)

香川県出身(高松市在住)

昭和45年5月生まれ 52歳

平成20年 リマクッキングスクール師範科修了

平成21年 家庭玄米菜食料理の「禾nogi cafe」をオープン

平成22年 「株式会社 禾」を設立

平成23年 アレルギー対応のおこめのおかし

「SWEETS AID」オンラインショップを開設

平成26年 高松市磨屋町に移転し、お米のお菓子の事業化

令和元年 会社をさぬき市津田町に移転し、製造工場拡張

本社所在地 香川県さぬき市津田町津田1467-3

PROFILE



環境森林部 環境政策課
副主幹 藤井 園美

脱炭素に向けて 県民総ぐるみの取組みを！ ～2050年CO₂排出実質ゼロに向けて～

脱炭素に向けた県内の動き

近年、国内外で深刻な気象災害が多発し、今後、気候変動の影響によるリスクが高まることが予測されるなど、地球温暖化対策は喫緊の課題となっています。

地球温暖化対策は、その取組みが多岐にわたっており、県民の皆さま、事業者の方々、市町などの全ての主体が一丸となって、あらゆる分野で対策を進めていく必要があることから、今年4月には関係団体や市町などで構成する「香川県地域脱炭素推進協議会」を設置し、各主体が連携・協力して地域の脱炭素に向けた取組みを主体的に進めていくこととしています。県民の皆さまや事業者の方々には、日常生活や事業活動の中で常日頃から脱炭素を意識したライフスタイルやワークスタイルに転換していただき、「徹底した省エネルギーの推進」や「再生可能エネルギー等の導入促進」などの取組みを県民総ぐるみで行うことが重要です。

家庭に対する支援

こうしたことから、県民の皆さまに対しては、今年度より、「かが



事業者に対する支援

事業者に対しては、金融機関等と連携したコンソーシアムを設置

わスマートハウス促進補助金」として新たな補助金制度を創設しました。従来の太陽光発電システムや蓄電システムに対する補助に加え、近年、需要が高まりつつあるZEHや蓄電システムの代替にもなるV2Hシステムに対する補助を開始しています。

補助対象		補助金額	上限
住宅用太陽光発電システム	新築	1.3 万円 /kw	2.5 万円
	既築		5 万円
ZEH		20 万円（定額）	
住宅用蓄電システム		設備費の 1/10	10 万円
住宅用V2Hシステム		10 万円（定額）	

し、事業者の環境配慮型設備投資の促進に取り組んできているところですが、さらに今年度は、事業者向けの脱炭素に向けた取組みや課題に関する相談窓口として、環境保全公社に「ゼロカーボン企業相談窓口」を5月に設置し、専門相談体制を確保したほか、脱炭素に向けた優れた取組みを行った事業者の表彰なども行うこととしています。

県自らの取組み

本県では、2月に策定した地方公共団体実行計画（事務事業編）において、ZEHの導入に向けた取組みを含む「施設・設備の省エネルギー化の推進」や「環境にやさしい自動車の計画的導入」、「環境に配慮した電力の調達」などを重点施策として位置づけました。温室効果ガス排出量の削減目標達成に向けて、県自らがこれまでに率先して、脱炭素に向けた取組みを進めてまいります。



「県民生活支援事業」について

長引くコロナ禍において物価高騰に直面されている香川県民の皆様に対する生活の支援や地域経済の活性化を図るため、マイナンバーカードを活用した給付事業「県民生活支援事業」を実施することとなりました。

本稿では、「県民生活支援事業」の概要等についてご説明します。



政策部自治振興課
主任主事 井元 碧

「県民生活支援事業」とは？

キャッシュレス決済サービスにて香川県民一人あたり5000円分のポイントを付与する事業です。

ポイントの付与対象者は？

ポイントの申込手続にはマイナンバーカードが必須となるため、実質的なポイントの付与対象者は次の①及び②の要件を満たす方となります。

- ①香川県に住民票があること
- ②有効期限内の利用者証明用電子証明書が搭載されたマイナンバーカードを保有していること

ポイントの申込期間は？

本年10月中から令和5年1月末までを予定しています。

ポイントの申込手続きは？

本事業は、国のマイナンバー事業の基盤を活用し、自治体独自の給付事業を行う「自

治体マイナポイント事業」というスキームで行います。したがって、国のマイナポイントの申込手続きと同様に、ポイントの付与を希望される方には、「マイナポイントアプリ」をインストールしたスマートフォン又は「マイキーID作成・登録準備ソフト」をインストールしたパソコンを用いて、4桁の利用者証明用電子証明書の暗証番号を入力しマイナンバーカードを読み込むことで本人認証を行い、利用を希望する決済サービスを選択して決済サービスID等の情報等を入力していただくこととなります。

利用できる決済サービスは？

8月末現在では未定です。9月中旬以降、決済サービス事業者の選定を行います。

ポイントの申込支援策は？

御自身でマイナンバーカードの読み取り可能な端末をお持ちでない方や、端末の操作に不安がある方のために、ポイントの申込支援拠点及びコール

市町での対応は？

原則、ポイントの申込支援や問い合わせ対応は県の委託事業者が行いますが、住民の方の利便性の観点から、可能な限り、御助力いただければ幸いです。なお、ポイントの申込手続で使用する利用者証明用電子証明書の暗証番号は、3回誤入力するとロックがかかります。ロック解除手続きは市町の窓口で実施する必要があります。そのため、住民の方から相談があった場合は御対応をお願いします。

ポイントの申込支援・問い合わせ対応業務の委託事業者や、利用できる決済サービス事業者など、事業の詳細が定まり次第、随時情報共有させていただきます。

市町のマイナンバーカード・マイナポイント関連事務の御担当者様におかれましては、本事業に御理解・御協力を賜りますようお願い申し上げます。市町のマイナンバーカード・マイナポイント関連事務の御担当者様におかれましては、本事業に御理解・御協力を賜りますようお願い申し上げます。





平和記念公園の風景

広島県 広島市



経済観光局産業振興部
ものづくり支援課長
坪井 昌志さん

広島広域都市圏における ものづくり企業への支援

～みんなで目指す「誰もが住み続けたい、
住んでみたい広島広域都市圏」～

1 広島市の概要

広島市は、緑豊かな山々、風向明媚な瀬戸内海、清らかに流れる太田川などの豊かな自然に恵まれた、美しい都市景観を有しています。また、市内製造品出荷額等の6割強を輸送用機器が占めるなど、自動車関連産業が盛んなものづくりのまちです。

2 広島広域都市圏の概要

少子化・高齢化、人口減少など社会経済情勢の急速な変化に対応するため、広島市では、経済面や生活面で深く結び付いている広島広域都市圏の28市町が、都市連盟とも言うべき強固な信頼関係をベースに、ヒト・モノ・カネ・情報の循環を基調とする「ローカル経済圏」を構築し、地域資源を圏域全体で活用する様々な施策を展開すること、圏域経済の活性化と圏域内人口200万人超の維持



広島広域都市圏構成市町



(2020年現在約240万人) を目指す「200万人広島都市圏構想」の実現を図ることとしています。

3 「ものづくりの底力向上部会」での取組み

広島広域都市圏事業として設置する「ものづくりの底力向上部会」では、参加市町と共に、圏域内の製造業をさまざまな形で支援しています。その取組みの一部をご紹介します。

① 多面的企業力向上研修会（MFD）

一つ目の取組みは、MFD（Multi-Faceted Development）でも



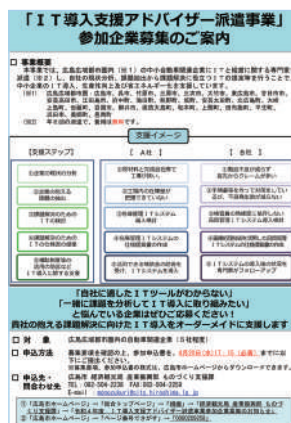
MFD打ち合わせの様子

のづくり企業の現状分析、課題設定等の取組みを支援するため、自動車メーカーO B等の専門知識を有するディレクターを派遣し、伴走型の支援をする取組みです。

小規模な企業だと、「そもそも自分たちの課題がなんなのかわからない」「こういうことをしてみたいんだけど、方法がわからない」「毎日の仕事に追われて業務見直しが難しい」と、なかなか自分たちだけでは課題解決に取り組めないことが多々あります。そこで、MFDでは、1年間（場合によっては2年間）ほぼ毎月ディレクターが企業を訪問し、企業の実態に寄り添って、課題解決を支援することから、支援を受けた企業からは大変好評をいただいているところです。

令和3年度は、「製造原価を把握・改善し利益向上を図りたい」という企業の課題に対し、粗利、製造費、外注費、管理費等の費用の見える化と赤字製品の抽出・分析及び利益向上のための対応策の検討などの取組みを実施しました。

令和4年度も企業を個別に訪問し、課題解決に取り組んでいるところです。



② IT導入支援アドバイザー派遣事業

二つ目の取組みは、IT導入支援アドバイザー派遣事業で、ITの導入により生産性の向上を目指す企業を対象に、ITと経営について専門知識を有するアドバイザーを派遣し、企業の現状分析、課題抽出、課題解決のためのITの提案を行う取組みです。

生産性や開発技術力の向上のためには、ITの活用が有効ですが、普段IT技術などに慣れていない企業にとっては、そもそもITで



支援を紹介するパンフレット

どのようなことができるのか、という導入部分への支援が不可欠です。本取組みでは、課題解決のためのITの提案にあたって、必要な仕様書の作成支援まで行い、どんな企業でも、ITの実装ができるよう手厚い支援をしています。令和3年度は、「業務プロセスにおいて、複数のシステムやファイルを使用しており、同一データの複数回入力が発生するなど非効率である」という企業の課題に対して、ヒアリング等による業務プロセスの整理により、費用対効果が見込める適切なソフト及びベンダーを選定し、受注管理業務においてRPAを導入する支援を行いました。こちらもMFDと同様に、令和4年度も企業を個別に訪問し、課題解決に取り組んでいるところです。

4 おわりに

ものづくり企業への支援は、「行政の押し付けになってしまっているといけない」を合言葉に今後も必要十分な支援施策の検討・実行に取り組み、広島広域都市圏の更なる発展に努めてまいりたいと思います。

香川の まち歩き

讃 岐うどんを引き立てるイリコの島として有名な伊吹島。ブランド化している「伊吹いりこ」の加工場から、瀬戸内国際芸術祭の作品の数々、荒神社・西ノ堂など、島の歴史と風景が両方味わえる魅力的なスポットを巡ります。



イリコと共に生きる、 味わい深い島巡り

観音寺市伊吹町

観音寺港から定期船「ニューいぶき2」で波に揺られること約25分。「伊吹いりこ」の生産地として名高い伊吹島に到着します。人が住んでいる島では香川県最西端にある伊吹島は取材当日はイリコの原料となるカタクチイワシ漁の最盛期で、島に降りるやいなやイリコのいい香りが鼻をくすぐります。

カタクチイワシ漁は6月中旬から9月の間だけ、バッチ網漁という独特の漁法で行われます。島の沿岸部に加工場があるため、イワシが網にかかってから30分後にはゆでて乾燥し、翌日には出荷できるそう。イワシ漁の網元はみんな自分の加工場を持っており、漁から加工までの一貫体制が「伊



取れ立てのイワシが次々とゆでられていく。口が開いているのは鮮度がいい証拠

吹いりこ」のブランドたるゆえんです。

港から島の中心部へ向かって、伊吹島の特徴である急な坂道を登っていきます。旧伊吹小学校の広い校庭に姿を見せたのは、瀬戸内国際芸術祭2013・石井大五さんの作品「トイレの家」。島の伝統行事の日に光のスリットがトイレ内に通るよう、天井や壁が計算して作られています。すぐ隣にある「総合防災セン



実際に利用できる石井大五さんのアート作品「トイレの家」





伊吹島一番の写真映えスポットである栗林隆さんの作品「伊吹の樹」。木の膨張で中のガラスが割れ、以前と異なる風景が映り込むのも、時間の経過を表すアートなのだそうです



案内してくれた観音寺市観光協会事務局長の藤原正清さん（右）と香川県瀬戸内国際芸術祭推進課の前川晃久さん（左）



みかんぐみ+明治大学学生による作品「イリコ庵」



当時の様子が見えがえる伊吹島民俗資料館



島の玄関口 真浦港

ター」も石井さんがデザイン。屋上が伊吹島の形をしており「そこから見える海の景色がすごくお勧めです」と香川県瀬戸内国際芸術祭推進課の前川晃久さんが教えてくれました。

旧伊吹小学校内は過去に芸術祭の会場になっていて、今回の芸術祭の秋会期にも建築家ユニット「KASA」が海の見える教室内に作品を作り上げます。彼らに限らず、伊吹島にきたアーティストたちはみんな「こんないい景色で、作品が負けてしまいう」と苦笑いするとか。どんな作品ができるのか期待が膨らみます。

伊吹八幡神社を参拝した後に脇を見上げると、2016年の芸術祭の作品「イリコ庵」が。イリコ加工に使う道具などを使って作られ、のんびりと景色を楽しめる場になっています。細い路地を下ると見えてくるのは、昭和40年まで活躍していた旧郵便局。今回の芸術祭の秋会期には一つの作品としてよみがえります。

しばらく路地を歩くと急に海に向かって開けた場所が広がります。ここは伊吹産院跡・「出部屋」で、出産後の約1カ月、漁を営む厳しい労働生活から離れ、ここで母子だけで共同生活を送った

ていました。出部屋跡に横たわる「伊吹の樹」は2019年の芸術祭の栗林隆さんの作品。子宮を表す木のオブジェの中に入ると万華鏡のように自分や景色が映り込み、不思議な感覚に包まれます。

伊吹島民俗資料館で島の歴史に触れた後、ゆるやかな坂道を上ると、島四国88番札所、荒神社・西ノ堂が見えてきます。堂内に展示しているのは「娘遍路」の写真。娘遍路とは、男性が漁で出ている間に女性たちが集まって四国を巡礼する文化で、戦前まで行われていました。「伊吹島には女性だけで何かするという文化が育っていると思います。今も島の女性は

がつちりとまとまりがあるように感じますね」と観音寺市観光協会事務局長の藤原正清さんがこやかに答えてくれました。

芸術祭が開催される島々の中でも、ひととき離れた場所にある伊吹島。藤原さんに島の魅力を伺うと「やはりイリコ漁ですね。今まで培われてきた島の暮らしや文化がイリコ中心に成り立っている。これだけ一つの産業で栄えている島は珍しいと思いますよ」と力強い答えが返ってきました。「島に行くまでが大変ですが、来てもらえたら満足できる、見応えがある島だと思います」と前川さん。伊吹島が持つ独特な歴史と文化、そして絶景の数々をぜひ足を運んで楽しんでみてください。



島四国88番札所 荒神社・西ノ堂

香川の自治に新しい力 New Face

はじめて

丸亀市民生生活部
スポーツ推進課
まつかわ こうすけ
松川 高輔さん



■あなたのチャームポイントは？
体が大きいところです。これを生かし業務では重い荷物も運んでいます。

■丸亀市のいいところは？
自然が豊かなところです。市民の方々が自然を大切に思い、行動してくれているおかげだと思います。

三木町
税務課
たなもと ともや
樽本 知弥さん



■あなたのチャームポイントは？
くつきり二重です。ただ、疲れたり寝不足だと二重に変化してしまいます。

■三木町のいいところは？
日本最大級4体の大獅子。お祭りでは「獅子舞」が地域を盛り上げます。暮らしやすく、田舎の景色も望める素敵な町です。

坂出市
消防本部
きたやま さおり
北山 咲織さん



■目指す人物像は？
女性消防士の特性を活かし、市民の皆様が安心してもらえるようになりたいと思います。

■坂出市をこうしたい！
市民の皆様が安心して暮らせ、老若男女問わずたくさんの人々が集まる町にしたいです。

琴平町
子ども・保健課
ふじい みひろ
藤井 美尋さん



■今、熱中していることは？
カフェ巡りです。パンやスイーツなどが好きなので素敵なお店を見つけるとワクワクします。

■琴平町をこうしたい！
地域に密着した活動を心がけ、赤ちゃんから高齢者まで町民のみなさんが楽しく健康に暮らし続けられるようにしたいです。

観音寺市
秘書課
おおや ちか
大矢 千華さん



■あなたのチャームポイントは？
笑顔と笑い声です。友人からは、「特徴的でつられて笑ってしまふ」とよく言われます。

■観音寺市のいいところは？
過ごしやすい気候のなか、海や山が近くにあることで、自然を感じながら穏やかに過ごせる場所です。

三豊総合病院
企業団
たけいち ももか
竹一 萌々華さん



■あなたのチャームポイントは？
物事を冷静に考えるところで。周りから、頼りになると言われ、よく相談相手をしています。

■企業団の仕事内容は？
医師や看護師の他、薬剤師、栄養士など、多くの職種があります。各職種が専門性を発揮し、一つのチームとして活躍しています。

さぬき市
都市整備課
おおやま かずき
大山 和起さん



■今、熱中していることは？
料理をすることです。偏った食事になっていないか考えながら作ることを楽しんでいます。

■さぬき市をこうしたい！
さぬき市の豊かな自然を活かして、誰もが住み続けたいと思える活気あふれるまちにしていきたいです。

中讃広域行政事務組合
租税債権管理課
たかはし ちか
高橋 知佳さん



■今、熱中していることは？
写真を撮ることです。最近フィルムカメラを購入し、外出する際には持ち歩いています。

■組合のPRをお願いします！
構成団体である2市3町（丸亀市、善通寺市、琴平町、多度津町、まんのう町）を支えるため日々業務に取り組んでいます。



一生懸命練習に励む高瀬子ども太鼓「童響」。
将来の響屋は彼らが担う



3年ぶりに開催された「第12回讃岐の鼓響」で
力強いパフォーマンスを披露



三豊市

プロも輩出、個性あふれる実力派集団 和太鼓集団 響屋おとや

(代表 詫間 浩二さん)

三豊市高瀬町のみとよ未来創造館に響きわたる力強い太鼓の音。高瀬町を拠点に活動している「和太鼓集団 響屋」は、毎年3月に開催している定期公演のほか、県内外のイベント出演、さまざまなジャンルのアーティストとコラボレーションライブを行うなど、和太鼓の可能性を模索しながら、個性あふれるパフォーマンスを展開しています。

響屋の前身は、高瀬町の町制30周年を機に新たな郷土芸能として1985年に立ち上げた「高瀬町実相院殿大領太鼓」。響屋の代表を務める詫間浩二さんも発足時に加入しました。最初は多くのメンバーが参加していましたが、次第に仕事や家庭の事情などから参加者が減少。存続に危機感を持った詫間さんは「地元の文化として残していくには後継者が必要」と、1999年に高瀬子ども太鼓「童響」、翌年に「響屋」を立ち上げました。

「全国に和太鼓の集団はたくさんあり



今年の日本太鼓ジュニアコンクールで
(一社)富山県芸術文化協会会長賞を受賞した「響屋ジュニア」

月に富山県で開催された第24回日本太鼓ジュニアコンクールで、中学生から高校生

ますが、育成にかけては他に負けない自信があります」と、響屋の立ち上げメンバーで事務局長の川江秀樹さんとともに、後身の指導に力を入れています。指導する上で大切にしているのは「自主性」。きっかけはジュニアコンクールに初出場した時の会場風景でした。全国の猛者たちが誰に指示されることなく自分たちで率先して練習を始めている姿を見て、練習から自主性を持たせました。

自由な練習環境に変化したことで若い打ち手が次々と育ち、今では県内屈指の実力派集団に成長。2022年3



還暦を迎え、太鼓の打ち手だけでなく指導者として、ますます脂が乗ってきた代表の詫間さん

で構成する「響屋ジュニア」が(一社)富山県芸術文化協会会長賞を受賞しました。「人には打つ色(個性)があります。その色を大切に伸ばすと味になり、聞く人の心に響く音になるんです」と詫間さん。世界各地で公演を行うプロの太鼓芸能集団「鼓童」にも3人のメンバーを輩出するなど、その指導法はプロも注目しています。

現在はリーダーの徳永廣揮さんをはじめ若いメンバーが中心となり、公演の様子をSNSで配信するなど、新しい取り組みも進めています。詫間さんは「太鼓を通して人との出会いや貴重な経験をすることができました。これから地元の伝統として長く続いていける集団にしていきたい」と、次の世代に響屋らしい「心に響く音」をつないでいます。

DATA

和太鼓集団 響屋
三豊市高瀬町比地中1447-7
☎090-8282-4007

ハロウィン ジャンボ

ラッキー・ハロウィン!

ハロウィン ジャンボ



5 億円

当せん
の
チャンス
が
広がる

5 千万円

1等前後賞合わせて
5,000万円
1等3,000万円、
前後賞各1,000万円

1等前後賞合わせて5億円
1等3億円、前後賞各1億円



この宝くじの収益金は
市町村の明るいまちづくりや
環境対策、高齢化対策など
地域住民の福祉向上の
ために使われます。



9月21日(水)

同時
発売

各1枚 300円

2022年 新市町村振興宝くじ

公益財団法人 香川縣市町村振興協会